

輪之内町立大藪小学校で防災講座を行いました

令和5年10月26日（木）、輪之内町立大藪小学校で5年生46名に防災講座を行いました。輪之内町は9.12豪雨災害で長良川の堤防が決壊した安八町に隣接していますが、輪中堤で被害が大きく軽減されました。

講座は、実験を中心に行い、「バザードマップを知っていますか？」の問いに対して、ほとんどの児童の手が挙がりましたが、洪水の想定される浸水深まで確認している児童は数人で、学校の想定浸水深に驚いていました。

最後に、児童から「今まで大丈夫だったから、今日も大丈夫だと思わずに、日頃から気をつけたい」、「命を守るために早く避難した方が良いことを教わりました」、「もしも災害が起きた時のために備えられることがわかった」など感想を発表してくれました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、輪之内町の広報、中日新聞、岐阜新聞に取材頂きました。

